



月島

(豊洲駅～月島駅)
海と船のロマンをめぐるコース



かつて造船ドックとして
栄えた豊洲から晴海、
そして下町の
月島・佃島界隈へ。
海と船の歴史に思いを馳せる。



歩行距離 約8.8km 歩行時間 約2時間10分

※歩行時間には見学や休憩等の時間は含まれていません。

5 江戸時代に大阪の漁民たちが造った 佃島

江戸時代、徳川家康と関わりの深かった摂津国佃村(現在の大阪市西淀川区佃)の漁民たちが造った島。移住の際に、摂津国佃村の住吉神社の分神霊とともに江戸に下りました。佃島の発祥の地でもあり、江戸時代から代々続く老舗の佃煮屋さんもあります。



住吉神社
境内にある伝・写楽
終焉の地の碑。

大イチョウがある
佃地蔵尊

石川島灯台
モニュメント

5 佃島
佃小橋

住吉神社

佃煮屋

佃大橋

隅田川の
テラスを歩く

大正15年築
警視庁最古の
現役交番



4 月島開運観世音
長野県善光寺の別院本
誓殿として建立された
月島の観音さま。

春海橋 東京都港湾局専用線の
鉄橋が残っている!

晴月橋

晴海トリトンスクエア

トリトンブリッジ
(動く歩道)

勝どき駅前

都立大江川線

新島橋

朝潮小橋

都立 晴海ふ頭公園
展望園路や展望台からの
眺めが美しい!

真ん中の
スロープを上る

中央清掃工場

ほっとプラザ
はるみ

晴海運動場

3 晴海客船ターミナル

2 ガスの科学館

1 豊洲公園

1 造船工場跡の面影を訪ねる 江東区立 豊洲公園

昭和初期に造船工場があった豊洲。園内の花木とモニュメントの広場には、造船工場で使用されていた錨(いかり)や鎖などの産業遺構を活用したモニュメントが設置されています。目の前には水上バスも行き交っています。



造船ドックの
クレーンが
残されている
水上バス乗船場

晴海大橋

橋上には展望スペースがあり、
レインボーブリッジを
ほぼ真横から眺められる!



2 おとなも興味津々のガスの不思議な世界 ガスの科学館



「科学と暮らしの視点からエネルギーの? (はてな) を学び! (なるほど) を実感」をテーマにしたミュージアム。暮らしを支えるエネルギー、ガスの世界を見て、聴いて、体験できる7つのゾーンがあります。屋上の芝生の広場からは都市と海と大空と360度大パノラマが楽しめます。

入 9:30~17:00(入館は16:30まで) 無料
休 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、
設備点検日
☎ 03-3534-1111

3 レインボーブリッジや都心を一望する 晴海客船ターミナル

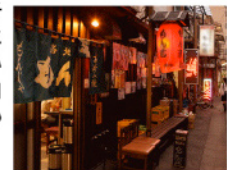
海に面した臨港広場では心地よい潮風を感じながらレインボーブリッジやお台場が眺められ、展望台からは視界360度の大大パノラマで東京湾や都心を見渡すことができます。

入 1階・2階・展望台
平日9:00~17:00(7/20~8/31は~20:00)
土日祝9:00~20:00(11/1~3/31は~19:00) 無料
休 12/29~1/3 ☎ 03-3536-8651



4 下町の味「もんじゃ焼」のメッカ 月島もんじゃストリート

約60軒のお店が集い、個性的なトッピングと味を競うストリート。もんじゃ焼のルーツは、小麦粉を溶いて鉄板で焼き、醤油や蜜で味つけたもので、子どもたちが鉄板に文字を書いて焼いたことから「文字焼」がその語源といわれています。



東陽院

「東海道中膝栗毛」の作者・十返舎一九のお墓があるお寺。「この世をば、どりやお假に、線香の、煙りとともに、仄な様なら」というユニークな辞世の句を残しています。



あの時代へ TIME SLIP

クイーンエリザベス2世号も 停泊した晴海ふ頭

昭和12年、「いつでも晴れた海を望む」ということから「晴海」という名がつけました。晴海ふ頭は昭和16年に開港し、海の女王・クイーンエリザベス2世号をはじめ、外国客船が頻りに停泊していました。ちなみに、クイーンエリザベス2世号は2008年の世界一周クルーズを終えて退役しました。

